

## 議 事 録 確 認

京浜東北・根岸線の安全輸送を確保し、輸送品質・働きがいの向上を求める検証申し入れの交渉経過において、別紙のとおり確認した。

平成 29 年 3 月 3 日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社  
総務部 勤労課長 原 潔



東日本旅客鉄道労働組合大宮地方本部  
業 務 部 長 高橋 孝一



〔別 紙〕

- (組 合) 施策実施以降、異常時において蒲田での乗務員操配や運転整理方法が適応せず、ダイヤ平復に時間を要している現状及び、そのことにより長時間乗務が多く発生していることに対する認識を一致し、運用等の問題解消に向けた具体的な改善策を示すこと。
- (会 社) 輸送障害発生時には、これまでも早期のダイヤ平復に向け運転整理を実施しているが、今後も、スキルアップに取り組んでいく考えである。また、乗務員操配については、引き続き関係箇所と必要な調整等を行っていく考えである。
- (組 合) 議事録確認が履行されていなかった状況に踏まえ、「臨時仕業検査が出来る体制」及び「車両清掃の偏りを改善する体制」の構築について早急に改善すること。
- (会 社) 異常時においてより柔軟な対応が行えるよう、必要な教育と調整を実施しているところであり、今後も関係箇所と連携して取り組む考えである。なお、異常時等における臨時仕業検査や清掃計画の調整については、引き続き関係箇所と連携して対応を検討していく考えである。
- (組 合) 異常時対応力を強化するため蒲田での乗務交代を基本設定とし、磯子での交代する行路設定を行わないこと。
- (会 社) 乗務員の乗継交代駅は、区所のある南浦和駅、蒲田駅、磯子駅が基本である考えに変わりはないが、異常時の状況把握に努めていく考えである。

- (組 合) さいたま運転区の食事スペースに仕切りをつけること。横浜運輸区ではワンフロア化に伴い十分な休憩をとることが出来ない環境になっていることから、しっかりと休憩できる設備を整えること。
- (会 社) 設備の改善等については、使用状況等を確認し、必要に応じて順次取り組んでおり、今後も関係箇所への要請と合わせて取り組んでいく考えである。
- (組 合) 磯子駅北行ホーム詰所が乗務員の待機場所になっていることや、異常時には当直より待機指示がある現状に踏まえ、ATOS 端末やテレスピを設置すること。
- (会 社) 必要な設備については、これまでも関係箇所に要請してきたところであり、今後も要請していく考えである。
- (組 合) 実施後に問題点が発生した時は速やかに改善に向けて取り組むこと。
- (会 社) 問題は生じないと考えているが、具体的に提起があれば「労使間の取扱いに関する協約（平成 27 年 10 月 1 日締結）」に則り取り扱っていく。